

ジュニア賞

人災対策ゲーム

齋木 あやめ (高校3年生：神奈川県)

「自然災害」それは日本がこれからも向き合っていかなければいけない問題の一つである。最近では東日本大震災や熊本大地震、西日本豪雨これ以外にも沢山の災害があった。また今後30年間のあいだに首都直下型地震が起こる確率は70%以上と予想されている。しかしこれからも災害が起こるとわかっているのにあまり対策はなされていないように感じる。

政府は災害があった時に自衛隊を派遣したりしてくれる。しかし災害が起こった直後に頼りになるのは自分だけである。その時の行動で今後の命に関わったりする。例えば阪神淡路大震災は冬に起きたため火気を消し忘れた人々による火災が沢山発生した。これを「人災」と呼ぶ。正直、災害を無くすことは難しい。しかしこの人災を無くすことが私達にできる最大のことだと思う。

そこで私は「人災対策ゲーム」を提案する。これはロールプレイングゲームで災害が起こってから脱出するまでの行動の適切さと速さを競うゲームだ。例えば設定は一人で家に居るときの地震とする。そうするとまず警報が鳴る。プレイヤーは机に潜る。出口の確保をする。脱出成功。そして最後にその行動の適切さは何点だったのかが出てくる。オンラインなどで沢山の人とタイムを競うことによりゲーム感も生まれる。これにより本当に災害が起こった時速やかに適切な対応ができる。本番はそんなに上手いかなかったとしてもこのゲームで学んだ行動によって助かるかもしれない。VRでのゲームも考えたが、手軽に皆が遊べる事を考えると今までのゲームのようにコントローラーで遊べるものの方が浸透しやすいのでこちらを推薦する。

この時代だからこのようなゲームを使って人災を防止することが出来るかもしれない。ゲーム好きの若者も興味を持ってこのゲームをすることで周りの人も助けることが出来るかもしれない。このゲームが日本が災害と共存していく一歩となれば嬉しい。